

日本風景街道 熊野における 地域活性化活動について

竹澤 央貴

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 道路管理第二課 (〒640-8227 和歌山県和歌山市西汀丁16)

本稿では、日本風景街道にルート登録をされている「日本風景街道 熊野」において、地域固有の文化や風土を活かしながら、地域に住む方々が主体となって、「美しいまちづくり」と「まちづくり」の取り組みを紹介するものである。

あわせて、「日本風景街道 熊野」が今後、取り組むべき課題やあり方についての所見を記載している。

キーワード 日本風景街道, 熊野, 地域活性化, 美しいまちづくり, まちづくり

1. はじめに

本稿では、日本風景街道にルート登録をされている「日本風景街道 熊野」において、地域固有の文化や風土を活かしながら、地域に住む方々が主体となって、「美しいまちづくり」と「まちづくり」の取り組みを紹介するものである。

また、「日本風景街道 熊野」が今後、取り組むべき課題やあり方についての所見を記載している。

2. 「日本風景街道 熊野」の概要

「日本風景街道 熊野」は、地域固有の文化や風土を活かしながら、地域に住む方々が主体となって、「美しいまちづくり」、「まちづくり」を取り組みことを目的としたものであり、地域のNPO団体等が31団体所属している。

「日本風景街道 熊野」の活動エリアには、世界遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」、観光地、景勝地が多数存在するエリアとなっている。(図-1)

「日本風景街道 熊野」の取り組みは、平成18年2月より「シーニックバイウェイ紀南」として開始しており、地域固有の文化や風土を活かしながら、地域に住む方々が主体となって、「美しいまちづくり」、「まちづくり」の実現を目指し、平成19年11月に日本風景街道に登録され名称を「日本風景街道 熊野」と改め今日まで活動を継続している。

近年では、地域資源の掘り起こしや交流を深めてもらうことを目的とした「地域の魅力再発見ツアー」(図-2)の実施や道の駅周辺のみどころを紹介した「よしみちマップ」(図-3)の配布による広報活動を行っている。

また、前述に記載した、地域の資源の掘り起こしや広報活動等が評価され、令和3年3月には近畿風景街道推進協議会から近畿優秀活動賞を受けた。(図-4)



図-1 「日本風景街道 熊野」の活動エリア



図-2 地域の魅力再発見ツアー



図-3 よりみちマップ (道の駅くちくま周辺)

情報提供などを行っている。推進会議の実施は年4回程度行っている。

総会は、全所属団体の代表者から構成されており、推進会議から提出された1年の全体計画の承認、会計報告、役員の変更を実施している。

事務局は、総会を円滑に進めるための資料作成の補助及び近畿風景街道や日本風景街道からの情報提供などを行っている。総会の実施は年1回行っている。

その他、「日本風景街道 熊野」の活動資金として年1回、会費として¥1,000を徴収している。徴収した会費はイベント時にかかる諸経費や各部会の活動実施にかかる際の費用などに充当しており、管理は事務局で行っている。

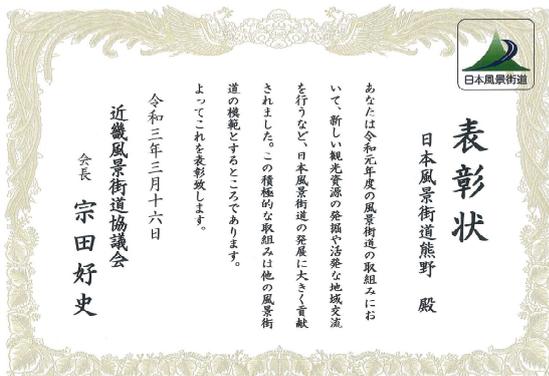


図-4 近畿風景街道 近畿優秀活動賞受賞

体制図 日本風景街道 熊野

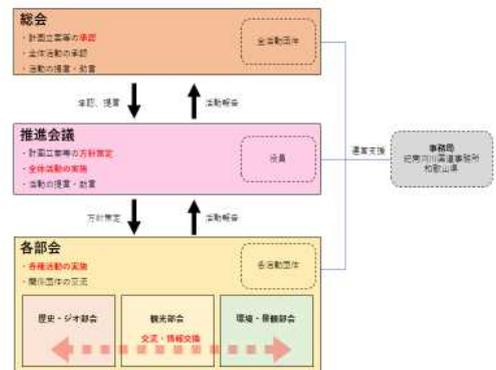


図-5 「日本風景街道 熊野」体制図

3. 「日本風景街道 熊野」体制について

「日本風景街道 熊野」は、体制(図-5)は、総会、推進協議会、部会から構成されておりそれぞれの運営支援として事務局(紀南河川国道事務所)が参画している。

部会では、「歴史・ジオ部会」、「観光部会」、「環境・景観部会」の3部会があり所属団体が強みとしている部分が活かせる部会に参加して個々の活動を行っている。(併任も可)事務局は、各部会で活動を実施しているイベントや植栽活動などの運営補助を行っている。

推進会議では、所属団体から選出された、代表者と各部の部会長から構成された役員(図-6)のみで実施をしている。内容としては、総会へ提出する一年の全体計画の策定や「日本風景街道 熊野」の今後の方針の計画立案および策定、全体活動の実施の計画立案を行っている。

事務局は、推進会議を円滑に進めるための資料作成の補助、方針の助言、近畿風景街道や日本風景街道からの

令和3年度 役員リスト

| 役職 | 所属団体 | 代表者(敬称略) |
|----------|------------|------------|
| 会長 | [Redacted] | [Redacted] |
| 副会長 | [Redacted] | [Redacted] |
| 会計 | [Redacted] | [Redacted] |
| 会計監査 | [Redacted] | [Redacted] |
| 歴史・ジオ部会長 | [Redacted] | [Redacted] |
| 環境・景観部会長 | [Redacted] | [Redacted] |
| 観光部会長 | [Redacted] | [Redacted] |
| 顧問 | [Redacted] | [Redacted] |

図-6 役員リスト

4. 「日本風景街道 熊野」の取り組み紹介

近年、「日本風景街道 熊野」が取り組んできた活動を紹介する。

① 地域資源を掘り起こす「地域の魅力再発見ツアー」
「観光部会」、「歴史・ジオ部会」が合同で企画しており、地元の方々でも忘れていた魅力または認知されていない地域の魅力を再発見するための活動を実施している。

再発見ツアーを通して、自分たちが住んでいる地域にある魅力を再確認していただくことを目的としている。
(図-7)

② 所属団体主催のイベントとの共催
所属団体である、NPO法人が主催しているイベント(コスモスまつり)に共催しており、イベント時にはブースを出店して「日本風景街道 熊野」の活動を一般の方々にも広めるための広報活動をパネルやチラシを用いて実施している。

また、コスモスまつりではフリーマーケットも実施しており、各団体でもちより物販活動もあわせて実施しており、売り上げの一部は「日本風景街道 熊野」の活動資金に充当している。(図-8)

③ 他の風景街道との交流活動
前々年度は、組織が長期間継続してきたことで、活動の定番化や人材の高齢化などの課題が生じてきていることから組織が持続的に地域を活性化していくための新たな知見を得るとともに、組織の活動を広く普及し連携していくために、日本風景街道の他団体との交流活動を実施している。

交流活動においては、他団体の先進的な活動を視察しノウハウを学ぶとともに、意見交換会を通して互いの活動の水平展開を図ることを目的としている。

これまでに、「日本風景街道 琵琶湖さざなみ街道・中山道」と交流活動を実施しており、互いに意見交換会を行った。

視察先としては、中山道を観光ルートとしての「道」、古道・街道として歴史的価値をもつ「道」、生活道路としての「道」など様々な観点からそれぞれの地域の「良さ」「問題点課題」を見る目的で行っている中山道リレーウォークの活動箇所を視察。

- ・中山道、守山宿、うの家、近江路中山道、各宿場の取り組み説明
- ・うの家、中山道街道交流館、東門院等、守山周辺の見学

また、活動実施にかかる費用については、(一社)近畿建設協会が募集をしている「地域づくり・まちづくり支援事業」を活用した。(図-9)

④ 「日本風景街道熊野」主催のシンポジウムの実施
「紀南の魅力発信」すること目的として、「日本風景街道 熊野」主催の日本風景街道熊野シンポジウムを実施。

シンポジウムでは、基調講演とパネルディスカッションの2部構成として、講演者とコーディネータに筑波大学名誉教授・日本みち研究所理事長の石田 東生(いしだ はるお)先生をおよびして、パネリストとして紀南地域で活動をされている方々を招待して開催した。

基調講演では、石田先生より「地域再生と風景街道」の講演を承る。

パネルディスカッションでは、「紀南の魅力発信」をテーマに各パネリストが活動を通して発信したい、風景・自然環境・魅力をお話していただき、今後の魅力発信のあり方について議論を深めた。(図-10)



図-7 地域の魅力再発見ツアー



図-8 コスモスまつり





図ー9 近畿交流活動

5. 今後のあり方について

本稿では、「日本風景街道 熊野」の概要および近年取り組んできた活動の紹介を行った。

今後は、組織が長期間継続してきたことで抱えてる、会員の高齢化、活動の停滞化の課題を改善しなければならない。

この解決策として、前々年度と前年度には、新しい風を入れる目的で他団体との交流活動や「日本風景街道熊野」の活動の魅力発信するにはどういった手法があるかなどを議論するシンポジウムを開催するなどの課題の改善を模索する活動を実施した。

また、広報活動においては、活動の実施報告をホームページやSNSに掲載、イベント時には紹介ブースを設置、道の駅では「よりみちマップ」の設置をするなど活動の見える化を実施している。

これらの活動を通して「日本風景街道 熊野」の活動の活性化を図るには、新たな知見を得、それを活用し、繋げることにより発展できるのではないかと考えております。

参考文献

- 1) 紀南河川国道事務所：日本風景街道熊野（ホームページ）



図ー10 日本風景街道熊野シンポジウム